

事業報告書

平成25年度
自 平成25年4月 1日
至 平成26年3月31日

公益社団法人全国子ども会連合会
東京都文京区大塚 6-1-14 全国子ども会連合会ビル

平成 25 年度は公益社団法人としてのスタートの年となり、従来以上に公益性の高い運営が求められた。

制度共済も 2 年目に入り、法令に基づいた運営を一層推進するために、内外の研修を実施し、事務局体制の強化を図った。

この間、全国子ども会連合会は、全国子ども会ジュニア・リーダー研究集会、全国子ども会育成中央会議・研究大会を開催し、集団活動の振興・充実を図ってきた。

特に、東日本大震災から 3 年目に当たり、南三陸でのジュニア・リーダーの交流会及び宮城県松島での育成中央会議などで子ども会としての被災地支援のあり方を模索研究した。

時代の変化を鑑み、その中で子どもの成長に必要な人間関係・コミュニケーション能力を育て培うことを念頭に置き進めてきた 25 年度の事業について、以下、総括的に報告する。

1. 連合会事業

(1) 子ども会事業、助成金事業等、前年度に引き続きその浸透を図った。

(2) 平成 25 年 7 月 22 日～26 日宮城県南三陸町で、ジュニア・リーダーの被災地視察と交流会を実施した。

(3) 平成 26 年 2 月 14 日～16 日宮城県松島町の「松島大観荘」で開催された「第 47 回全国子ども会育成中央会議・研究大会」は、「東北復興支援大会」をテーマに子ども会が被災地の復興に如何なる支援をできるかを検討した。

本年度は、東北地区の 6 県 1 市が協力して開催し、企画から運営面まですべてに亘り地域の特徴を生かした研究大会とした。

また、開催経費については全国子ども会連合会が負担することとした。

(4) 全国子ども会連合会のホームページを充実するとともに、都道府県・指定都市子連のホームページの作成を進めた。

(5) 共済加入者については、400 万人まで減少した。

(6) 健全かつ適正な共済事業の運営を行うため、引き続き内部管理体制の強化と内部規程の整備を行い、担当職員の確保と教育研修を進めた。

2. 監査の指摘を受けて

25年5月8日、監事の所見に基づき、以下の改善を図った。

(1) 財政面について

- ① 財務の健全化を図るため、理事会や委員会の開催を合理的に必要最小限にとどめた。
- ② 24年度に指摘された賠償責任保険料については、3社の見積もりにより26年度より大幅な保険料の縮減での契約となった。
- ③ 安全会会計については、年間を通して2件の請求があった。ほぼ、請求はなされたと考える。
- ④ 共済事業については、健全な運営がなされてきた。

(2) 組織について

公益法人の認定を受け、諸規程の整備など、内部管理体制を一層強化し公益性の業務を遂行できるよう組織作りをした。

(3) 現金の取り扱いについて

現金決済を大幅に減らし、金融機関による送金処理を昨年引き続き推進した。

■組織の状況

I 組織の状況

1 平成25年度の会員状況

正会員：59（46都道府県＋13政令指定都市）

2 役員に関する事項

(1) 当該年度末時点で在籍している役員

氏名(県・市)	役職	担当	就任 年月日	任期満了 年月日	重要な兼職の 状況
丸山康昭 (熊本県)	会長		平成24年 6月13日	平成26年 6月12日	
小林勝弘 (兵庫県)	副会長	総務財務	平成24年 6月13日	平成26年 6月12日	
磯田謙一 (島根県)	副会長	共済事業・安全会	平成24年 6月13日	平成26年 6月12日	
山上武久 (神奈川県)	副会長	事業	平成24年 6月13日	平成26年 6月12日	
細川昭一 (札幌市)	理事		平成24年 6月13日	平成26年 6月12日	
佐々木正市 (秋田県)	理事		平成25年 6月13日	平成27年 6月12日	
武士俣昭司 (新潟県)	理事		平成24年 6月13日	平成26年 6月12日	
丸山雄一郎 (長野県)	理事		平成25年 6月13日	平成27年 6月12日	
荒井公夫 (富山県)	理事		平成24年 6月13日	平成26年 6月12日	
河本功 (静岡県)	理事		平成24年 6月13日	平成26年 6月12日	
小林幸男 (岐阜県)	理事		平成24年 6月13日	平成26年 6月12日	
池田龍男 (福岡県)	理事		平成24年 6月13日	平成26年 6月12日	
野瀬武敬 (名古屋市)	理事		平成24年 6月13日	平成26年 6月12日	
中山良明 (大阪市)	理事		平成24年 6月13日	平成26年 6月12日	
成田國英 (学識経験)	常務理事		平成25年 6月13日	平成27年 6月12日	
中山ひろみ (大阪府)	監事		平成24年 6月13日	平成26年 6月12日	
後藤守吉 (群馬県)	監事		平成24年 6月13日	平成26年 6月12日	

(2) 平成 25 年度中に退任した役員

氏名(県・市)	役職	担当	就任 年月日	退任の理由
宮田浩一 (山形県)	副会長	事業	平成 24 年 6 月 13 日 ～平成 25 年 6 月 12 日	・ 県代表者辞任の為
石井幸夫 (東京都)	理事		平成 24 年 6 月 13 日 ～平成 25 年 6 月 12 日	・ 都代表者辞任の為
吉寄三義 (学識経験)	常務理事		平成 24 年 6 月 13 日 ～平成 25 年 6 月 12 日	・ 常務理事辞任の為

II 都道府県・指定都市子連の状況

1 代表者の交代による新規会員

県（市）	新代表者	旧代表者	異動年月日	備考
愛知県	市川 賀三	大沢 勝	平成 25 年 4 月 1 日	
福島県	新井田萬壽子	夏井 隆一	平成 25 年 5 月 19 日	
東京都	齋藤 武	石井 幸夫	平成 25 年 5 月 21 日	
宮城県	菅原 孝行	中鉢 義徳	平成 25 年 5 月 23 日	
山形県	山口 四郎	宮田 浩一	平成 25 年 5 月 25 日	
宮城県	熊谷 芳明	菅原 孝行	平成 25 年 9 月 14 日	
沖縄県	饒平名知敬	玉寄 哲永	平成 25 年 9 月 28 日	

2 会員都道府県・指定都市子ども会連合組織

別紙 1 参照

■事業報告

I 公益目的事業

(連合会事業)

A 子ども会活動の指導及び育成事業

1) 平成25年度全国子ども会ジュニア・リーダー研究集会中央会議

① 国立中央青少年交流の家（静岡県御殿場市）

ア) 日程：平成25年7月27日～31日（4泊5日）

イ) 場所：国立中央青少年交流の家（静岡県御殿場市）

ウ) 参加者：75名（うち男子27名女子48名 高三16名、高二30名、高一19名、
中三10名）

引率者：9名

エ) 参加費等：12,350円（参加費6,300円、食費等6,050円）

オ) 実施した主な内容

1日目：開会式、表彰式、オリエンテーション、基礎学習「この目の輝きを」視聴

2日目：基礎学習のフィードバックの子ども会の現状、班別協議、カード型情報整理法の演習、リーダーのレクリエーション指導法

3日目：KYT学習とフィールドゲーム、平成版「この目の輝きを」（ジュニア・リーダーによる子ども会PRの実践）作成に向けて、先輩と語る・自分を語る

4日目：平成版「この目の輝きを」作成、発表、フィードバック、
つどいの演出（キャンドル）

5日目：全体のまとめ、閉会式、別れのつどい

② 南三陸体験交流会

ア) 日程：平成25年7月22日～26日（4泊5日）

イ) 場所：宮城県本吉郡南三陸町 宿泊施設：平成の森

ウ) 参加者：14名（うち男子7名女子7名 高三2名、高二4名、高一1名、中ニ4名、
中一2名、小六1名）

エ) 引率者：5名

オ) 参加費等：10,000円

カ) 実施した主な内容

1日目：開会式、ワークショップ「南三陸町の宝物を探そう」

2日目：長須賀海水浴場清掃ボランティア、平成の森でのお茶っこ会、
「海藻おしばで学ぶ、あなたと社会のつながり」
ワークショップ「自然と人のつながりから宝物を探そう」

- 3 日目：小泉海岸視察、
 震災後の新たな地域おこしお話し：南三陸町入谷公民館 阿部忠義館長、
 気仙沼リアスアーク美術館常設展示見学 お話し：学芸係長 山内宏泰さん、
 まとめのワークショップ ファシリテーター：阿部正人先生
- 4 日目：東日本大震災の記録映像（東京都子連 齋藤理事長編集）、
 「歌津てんぐのヤマ学校」について、お茶っこ会で宝さがし（2回目）、
 南三陸町ジュニア・リーダーとの体験交流会「私たちすごい力を持っている」
 ファシリテーター：「南三陸ボランティアサークルぶらんこ（MVCぶらんこ）」メンバー6名、
 まとめワークショップ「宝物×あなた×地域＝？」
 ファシリテーター：本間照雄さん
 ゲストファシリテーター：阿部正人先生、藤田岳さん
- 5 日目：日常の輸送機関を使つての帰宅。

2) 地区子ども会ジュニア・リーダー大会

ア) 目的：研修、情報交換等を行うことにより、資質の向上を図る。

イ) 内容：青少年の自立支援を組み入れ、地域活動への参画を促す。

ウ) 助成金額：○助成金額 下記A+B の額

A 参加者 ～50 名=5 万円、51～100 名=10 万円、101 名～=15 万円

B 平成 25 年 6 月 30 日付けの共済加入人数×1 円を限度に運営費
 として全子連が実費を負担した。

地区	担当県	開催月日	会場	参加者数
北海道	北海道	25. 8. 8～11	国立大雪青少年交流の家	51名
東北	宮城県	25. 8. 2～4	国立花山青少年自然の家	102名
関東甲信越静	長野県	25. 8. 9～11	国立信州高遠青少年自然の家	64名
東京	東京都	25. 8. 23 25. 10. 10 25. 11. 3 26. 3. 16	全国子ども会ビル2階会議室 都民広場 八王子市市役所前広場 足立区勤労福祉会館	延べ37名
東海北陸	石川県	25. 8. 9～11	国立能登青少年交流の家	70名
近畿	奈良県	25. 9. 21～22	奈良県立野外活動センター	31名
中国・四国	愛媛県	25. 8. 23～25	松山市野外活動センター	108名
九州	熊本県	25. 8. 16～18	国立阿蘇青少年交流の家	277名
指定都市	大阪市	25. 8. 1～4	大阪市立信太山青少年野外活動センター	102名

3) 全国子ども会連合会表彰

- ・7月 子ども会、ジュニア・リーダー組織の表彰
- ・2月 指導者、育成者、指導者組織・育成組織、奨励賞の表彰
(中央会議の情報交換会と一緒に祝いのお会を行い、情報交換会費を全子連が負担した)

表彰区分	団体数、個人数
単位子ども会組織 (団体)	18 団体
ジュニア・リーダー組織 (団体)	5 団体
指導者、育成者 (個人)	69 名
指導者組織および育成組織 (団体)	12 団体
奨励賞 (団体)	9 団体

B 指導者及び育成者相互の連携事業

1) 第47回全国子ども会育成中央会議・研究大会

- ア) 日程：平成26年2月14日(金)～16日(日)
- イ) 会場：宮城県宮城郡松島町 ホテル松島大観荘
- ウ) 参加者：575名
- エ) 参加費：3,000円
- オ) 事業内容：

1日目(14日)

- 少年の主張 演題「忘れないために」
梶川 裕登(かじかわ ひろと)君 気仙沼市立小原木中学校3年生
第35回「少年の主張全国大会」で最優秀の内閣総理大臣賞を受賞
- ・開会式
- ・表彰式
- ・基調講演「小一中一地域連携した防災教育」
- ・活動発表 子どもたちによる故郷芸能・民謡 唄と踊り
行山流「水戸辺鹿子躍」 塩釜甚句、大漁唄い込み
- ・情報交換会

2日目(15日)

- ・被災地支援視察
Aコース：名取・荒浜地区
Bコース：石巻地区
Cコース：南三陸地区
Dコース：気仙沼地区
Eコース：奥松島地区

・分科会

- 第1分科会 東日本大震災から学ぶ子ども会活動の在り方
- 第2分科会 被災地子ども会活動の支援と子どもたちの防災キャンプ活動
- 第3分科会 被災地でのジュニア・リーダーの活躍と日本の子ども会の未来
- 第4分科会 3.11からの復興・復旧
- 第5分科会 地域を支え、地域に生きる、子どもの育成
- 第6分科会 阪神・淡路大震災からの復興
- 第7分科会 ジュニア・リーダー育成プラン
- 第8分科会 子ども会会員の増強につながる、子ども会活動を考える

3日目

- ・全体会 分科会報告
- ・シンポジウム「復興のまちづくりについて ～子どもに笑顔を！地域に夢を！～」
- ・閉会式

2) 地区子ども会育成研究協議会

ア) 目的：地区会長会議において内容を検討し、指導者、育成者の子ども会発展のための情報交換、協議の場として子ども会活動の振興に資する。

イ) 内容：開会式、表彰式、記念講演、情報交換会、分科会、全大会、閉会式等

ウ) 助成金：○運営助成金額 下記A+B の額

A 500,000 円 × 9地区

B 平成25年6月30日付けの共済会加入人数×3円を限度に運営費として実費を全子連が負担した。

地区	担当県	開催月日	会場	参加者数
北海道地区	北海道	25.10.12～13	千歳市市民文化センター	83名
東北地区	仙台市	25.11.16～17	ホテル華乃湯	145名
関東甲信越静地区	山梨県	25.10.20～21	甲府富士屋ホテル	224名
東京地区	足立区	25.3.16	綾瀬プルミエ	136名
東海北陸地区	愛知県	25.10.19～20	名古屋クラウンホテル	238名
近畿地区	滋賀県	25.12.7～8	草津まちづくりセンター クサツエストピアホテル	144名
中国四国地区	徳島県	25.11.9～10	徳島グランヴィリオホテル	227名
九州沖縄地区	長崎県	25.10.26～27	ANAクラウンプラザホテル 長崎グラバーヒル	299名
指定都市地区	広島市	25.11.23～24	アステールプラザ	546名

C 講習認定登録事業

1) 集団指導者、ジュニア・リーダー講習認定事業

ア) ジュニア・リーダー

初級		中級		上級	
東京都	8名	埼玉県	24名	札幌市	32名
愛知県	30名	千葉県	39名	青森県	1名
高知県	2名	東京都	1名	埼玉県	22名
北九州市	1名	愛知県	7名	千葉県	10名
沖縄県	22名	北九州市	2名	沖縄県	12名
		沖縄県	45名		
合計	63名	合計	118名	合計	77名

イ) 集団指導者

初級		中級		上級	
千葉県	2名	千葉県	10名		
合計	2名	合計	10名	合計	0名

ウ) グループカウンセラー養成講座

未実施

2) 子ども会KYT（危険予知トレーニング）指導者養成講習会（初級）

地区	開催地	開催期日	参加者数
関東甲信越静	群馬県	5月12日	81名
関東甲信越静	埼玉県	6月1日	17名
関東甲信越静	茨城県	6月2日	23名
関東甲信越静	神奈川県	6月8日	22名
関東甲信越静	栃木県	6月9日	21名
関東甲信越静	長野県	6月22日	30名
関東甲信越静	千葉県	6月29日	12名
東海北陸	福井県	6月30日	44名
九州沖縄	鹿児島県	7月6日	54名
九州沖縄	福岡県	7月6日	65名
関東甲信越静	静岡県	7月7日	18名
関東甲信越静	新潟県	7月21日	19名
東海北陸	岐阜県	1月19日	75名
九州沖縄	宮崎県	1月19日	21名

D 安全普及啓発活動

- ・「交通安全」「防犯」「防災」「防水」「水難」「その他活動中の事故」の6項目に重点を置き、死亡事故0運動を最大限の目標に掲げ、県子連、単位子ども会の安全教育の充実を進めた。また、子ども会活動を行なう前には子ども会KYT（危険予知トレーニング）を行なうよう周知徹底を進めた。
- ・各縣市子連での安全普及啓発活動の推進のために、36 縣市子連に安全普及啓発活動助成金を各 10 万円交付した。

県・市	活動名
北海道	石狩地区・根室地区安全対策研修会
岩手県	子どもを対象とした“防災キャンプ” 2013
仙台市	25 年 インリーダー研修会
秋田県	平成 25 年度秋田県ジュニア・リーダー等冬期研修会
山形県	KYT 担当委員研修会
茨城県	市町村子ども会 KYT 指導者養成講習会
栃木県	H25 年度子ども会指導者・育成者安全教育研修会及び子ども会 KYT 指導者講習会初級
群馬県	平成 25 年度 子ども会 KYT 指導者養成講習会<初級>
埼玉県	子ども会 KYT 指導者養成講習会【初級コース】
千葉県	千葉県子ども会育成研究協議会中央大会 第3部会「非常時に備えて」
東京都	犯罪から大人がまもるだけではない、子どもの安全確保とは？
神奈川県	ぼうさい探検隊リーダー養成講習会
横浜市	親と子の救命救急講習会&消防隊体験
川崎市	安全研修会（KYT 講習会）・育成者研修会（成人研修会）
相模原市	KYT 研修会等（3 地区 10 か所で開催）
新潟県	平成 25 年度子ども会 KYT 初級指導者講習会
福井県	平成 25 年度子ども会 KYT 指導者養成講習会（初級）
長野県	平成 25 年度長野県子ども会 KYT 指導者養成講習会[初級コース]
岐阜県	KYT 指導者養成講習会
静岡県	安全教育指導者養成研修会、子ども会 KYT 指導者養成講習会【初級コース】
名古屋市	子ども会 KYT 指導者養成講習会
三重県	三重県子ども会ジュニアリーダー研修会（安全プログラム）
大阪府	設立 50 周年記念事業 平成 25 年度安全教育推進研修会
大阪市	安全教育講習会
奈良県	KYT 講習会
和歌山県	指導者研修会における研修 テーマ「『生きる力』を育むために～学校給食でできること～」
島根県	平成 25 年度 自転車乗り方安全教室
岡山県	毛無山登山（登山から KYT<危険予知トレーニング>を学ぶ）
広島市	KYT 講習会
愛媛県	第 41 回中国・四国地区子ども会ジュニア・リーダー大会
福岡県	安全指導者養成交流会

佐賀県	平成 25 年度育成者・指導者研修会（安全教育 KYT 講習会）
長崎県	平成 25 年度子ども会研修会
熊本県	安全教育講習会（危険予知トレーニング及び防災教育講習会）
宮崎県	平成 25 年度 第 1 回子ども会 KYT 指導者講習会
沖縄県	子ども会安全教育 KYT 講習会

E 資料の刊行情報提供事業

1) ホームページの充実とインターネットの活用

全国子ども会連合会のホームページの充実を図るとともに、県（市）子連のホームページ作成を無料で支援。群馬県、宮城県に続き、25年度は茨城県、新潟県、神奈川県、大阪市、神戸市、岡山県、宮崎県のホームページを作成した。各県・市子連から作成依頼を受けており、順次作成している。

2) 情報収集・提供

各都道府県・指定都市子連の25年度データ（基本データ）よりデータ集を作成する。26年度に作成し提供する。

3) 全子連50年誌作成事業の開始

① 全子連50年記念誌部会編集委員

小菅知三（部会長）、速水順一郎（副部会長）、明石要一、宇田川光雄、河村隆
佐々木あい子、高崎盛雄、高橋登志子

担当理事 小林勝弘（副会長、50周年記念事業実行委員長）

② 編集委員会

第1回 平成25年9月2日
第2回 平成25年10月3日
第3回 平成25年10月29日
第4回 平成25年12月12日
第5回 平成26年2月6日

③ 内容

記念誌の構想と役割分担を議論。過去の資料の整備。

F 企業団体等連携事業

1) 企業・団体との共同による事業の展開

ア) 大正製薬夏休み子ども会ラジオ体操キャンペーン

協賛企業：大正製薬株式会社

実施場所：青森県、岩手県、栃木県、群馬県、静岡県、三重県、滋賀県、兵庫県、徳島県、香川県、福岡県、熊本県

協賛内容：ラジオ体操カード及びリポビタンDキッズ（ドリンク）の提供(10万件)と協賛金

イ) カルビー夏休み子ども会ラジオ体操キャンペーン

協賛企業：カルビー株式会社

実施場所：札幌市、宮城県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、名古屋市、大阪府、兵庫県、広島県、香川県、福岡県

協賛内容：ラジオ体操カード及びかっぱえびせんの提供(約7万件)と協賛金

ウ) テトラパック子ども会ドッジビー大会

協賛企業：日本テトラパック株式会社

実施場所：群馬県、東京都、神奈川県、大阪府、宮崎県、熊本県

協賛内容：参加者全員への記念品と、飲料の提供と協賛金。

2) 子ども会推奨マーク制度

子ども達の健全な育成に寄与する商品・サービスとして、全国子ども会連合会が認定した。

継続申請 7件

商品・サービス名	申請者	商品・サービス内容	備考
「mamorino」	KDDI株式会社	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続
定額制コンタクト メルスプラン	株式会社メニコン	月額制でいつでも新品と交換できる コンタクトレンズのプラン	継続
「見守り携帯」	ソフトバンクモバイル 株式会社	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続
キッズケータイ	株式会社NTTドコモ	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続
どこ・イルカ	株式会社ユビキタス	子どもの現在地を把握する為に特化 した「児童見守り」端末	継続
JINS PC for kids	株式会社ジェイアイ エヌ	コンピュータから発生するブルーラ イトから守るメガネ	継続
リポビタミンD キッズ	大正製薬株式会社	子どもの成長に必要な、タウリン・ カルシウム配合のリポビタミン	継続

G 助成金事業

1) 子どもゆめ基金事業（独立行政法人国立青少年教育振興機構）

① 集団遊び普及活動「ドリームキッズアドベンチャー」

事業目的：現代子どもたちが不足している「他人とお互いに協力し、物事を成し遂げる」ことを遊びを通じて、その大切さ大切さを体験する事業。同時に地域の大人、指導者育成者にその大切さを啓蒙し、地域での実践を促進していく

開催地	開催日	会場	参加者数
熊本市	平成 25 年 9 月 15 日	熊本市総合体育館	207名
山口県	平成 25 年 10 月 27 日	岩国市総合体育館武道場	162名
熊本県	平成 25 年 12 月 22 日	宇土市民体育館	242名

広島県	平成 26 年 3 月 9 日	尾道市尾道勤労者体育センター	220名
福岡市	平成 26 年 3 月 16 日	福岡市立城南体育館	360名

② 全国子ども会読み聞かせキャラバン

事業目的：読み聞かせを通じて子どもたちの感性や表現力、コミュニケーション能力を育む事を目的とした事業。同時に読み聞かせの指導者を養成することにより、読み聞かせの輪を広げ、継続的な地域での活動を促進していく。午前子どもを対象とした読み聞かせ会、午後に大人を対象とした指導者養成セミナーを実施した。

開催地	開催日	会場	参加者数	
			子ども	大人
兵庫県	平成 26 年 1 月 19 日	淡路市子育て支援センター	36名	32名
神奈川県	平成 26 年 2 月 8 日	厚木市ヤングコミュニティセンター	5名	46名
岐阜県	平成 26 年 2 月 22 日	関市文化会館	55名	55名

※神奈川県開催の子ども参加人数が極端に少ないのは、当日関東一帯の大雪により当日欠席が多く出たため。

③ 危険予知トレーニング指導者養成講習会【中級】

事業目的：子どもたちの安全安心な体験活動実施の為に、子ども会KYTを指導できる中級指導者の育成を目的とする

開催地	開催日	会場	参加者数
東京	平成 26 年 2 月 22 日～ 平成 26 年 2 月 23 日	全国子ども会ビル	54名
名古屋	平成 26 年 3 月 8 日～ 平成 26 年 3 月 9 日	名古屋市昭和区役所	56名

2) 公募寄付金の募集

① 東日本復興支援のための寄付金募集

・募金額 58,025 円

② 伊豆大島町台風災害支援寄付金

・募金額 207,941 円

・送金先 大島町役場

③ 2013 年フィリピン台風災害支援寄付金

・募金額 61,300 円

・送金先 日本ユニセフ

H 賠償責任保険の契約

1) 平成 25 年度発生事故（報告件数、支払状況）

① 対人事故報告件数 = 3 件

・支払済 2 件 80,820 円

- ・手続き中 1 件
- ・支払対象外・請求放棄 0 件
- ② 対物事故報告件数 = 152 件
 - ・支払済 93 件 2,393,171 円
 - ・手続き中 44 件
 - ・支払対象外・請求放棄 15 件
- ③ 対人 + 対物事故報告件数 = 0 件

2) 平成 24 年度以前発生事故 (支払状況)

- ① 対人事故
 - ・支払済 1 件 148,555 円
- ② 対物事故
 - ・支払済 25 件 922,895 円
- ③ 対人 + 対物事故
 - ・支払済 2 件 37,064 円 (対物)
 - 5,395 円 (対人)

I 物販事業

1) 売上金額 2,553,835 円

J 安全会事業

	件数 (件)	金額 (円)	計
疾病・傷害	2	589,885	入院・通院に関する給付

K 共済事業

1. 加入状況 (単位:名)

幼児	子ども	指導者・育成者	計
147,058	2,709,969	1,147,008	4,004,035

2. 共済金支払状況

1) 平成 24 年度の事故

支払済み	件数 (件)	金額 (円)	内訳
死亡	1	6,000,000	子ども 1 名

後遺障害	11	823,032	子ども9名、大人2名
疾病・傷害	1,281	33,761,964	入院・通院に関する給付
計	1,293	40,584,996	

2) 平成25年度の事故

支払済み	件数(件)	金額(円)	内訳
死亡	1	6,000,000	大人1名
後遺障害	10	2,579,203	子ども8名、大人2名
疾病・傷害	3,204	34,030,846	入院・通院に関する給付
計	3,215	42,610,049	

3) 合計

死亡	2	12,000,000	子ども1名、大人1名
後遺障害	21	3,402,235	子ども17名、大人4名
疾病・傷害	4,485	67,792,810	入院・通院に関する給付
合計	4,508	83,195,045	

(3) 立入検査について

平成25年9月17日～20日

指摘事項等詳細は別紙2のとおり

(4) 業務委託について

59の県・市子ども会連合組織と共済事業について、業務委託契約を締結し、事務委託費として、40,039,790円を支出。

(5) 準備金等の積立について

平成25年度共済純掛金の総額 = 91,755,675円 (a + b)

a 23円 × (加入者数) 3,970,322 = 91,317,406円 (前期4月～9月加入)

b 13円 × (加入者数) 33,713 = 438,269円 (後期10月～3月加入)

(ア) 責任準備金について普通支払備金

純掛金 × 50 ÷ 1000 = 4,587,784円

(イ) IBNR備金の算出方法

前期末IBNR備金 × (当期共済金支払額 + 当期末普通支払備金) ÷

(前期共済金支払額 + 前期末普通支払備金)

= 29,545,800円 × (83,195,045円 + 14,149,636円) ÷

(44,399,649円 + 23,024,395円) = 42,657,282円

(ウ) 準備金について

c 共済事業経常収益計 253,108,725円

d " 経常費用計 241,198,878円 (準備金以外)

剰余金は全額準備金とするとの事業計画に基づき

c-d = 11,909,847 円を準備金として計上した。

(6) 共済会計における財産及び損益の状況

① 財産の状況

(単位:円)

項目	平成26年3月31日現在	平成25年3月31日現在
流動資産	46,926,372	33,813,734
固定資産	79,485,697	61,995,420
資産合計	126,412,069	95,809,154
負債合計	126,285,084	95,682,169
正味財産	126,985	126,985
準備金	43,474,319	31,564,472

② 損益の状況

(単位:円)

項目	平成26年3月31日現在	平成25年3月31日現在
当期収入	253,108,725	211,296,279
過年度修正益	153,720	0
当期支出額	253,262,445	211,296,279
事業費	253,262,445	211,296,279
うち共済金	83,195,045	44,399,649
当期収支差額	0	0

(7) 今後の課題

共済事業においては、まず共済契約者の保護、法令に遵守した健全な運営が求められ、リスク管理の重要性を十分に把握し、さらなる内部管理の強化を重点的に進める。

また、財務の健全性を保つため、引き続き被共済者の増加促進運動の展開、募集のための費用の見直しや改善、支払事務体制のシステム化とさらなる改善を進めることが重要である。

業務委託先である県・市子連との連携の強化とリスクの共有により事故軽減のための安全普及啓発運動の展開を推進していくこと、中でもスポーツ事故の軽減が重要である。

<その他>

1) 事務担当者会議

①全国子ども会連合会事務担当者会議 (第1回)

日時：平成25年4月12日(金) 13:30~17:00

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟309会議室

参加人数：県・市子連・・・98名、全子連・・・9名

文部科学省：社会教育課PTA等共済室係長 吉谷正様

社会教育課PTA等共済室専門職 向真理様

内容：公益法人登記完了の報告

コンプライアンスについての研修
共済事業についての説明及び質疑応答
平成 25 年度全国子ども会連合会事業について

②全国子ども会連合会事務担当者会議（第 2 回）

日時：平成 25 年 12 月 19 日（木）11：00～16：00

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 310 会議室

参加人数：県・市子連・・・89 名、全子連・・・13 名

文部科学省：社会教育課PTA等共済室係長 吉谷正様

社会教育課PTA等共済室専門職 向真理様

内容：1 共済事業研修

PTA・青少年教育団体共済法とコンプライアンス

講師 吉谷正 様

2 全国子ども会安全共済会運営について

(1) 共済事業の事務について（マニュアル参照）

募集、契約加入手続き、共済金請求 等 について

(2) 業務委託先管理について

3 子ども会賠償責任保険について

4 全国子ども会連合会事業について

5 質疑応答

II 収益事業

1 全子連ビル管理・賃貸事業

1) 賃貸事業

NPO法人東京都子ども会連合会 賃貸収入 1,449 千円／年

2) ビル管理事業

エレベーター保守点検費用 226,800 円／年 、警備費用 145,245 円／年

3) ビルの建替工事資金と大規模修繕工事費用の積立

・建替準備資産 当年度繰入 1,646,260 円 当年度末 14,816,340 円

・大規模修繕準備資産 当年度繰入 2,865,000 円 当年度末 5,730,000 円

Ⅲ 法人の運営について

1. 組織、事務局執行体制の整備と強化

- 1) 文科省の研修に参加し、共済業務知識の習得をはかった。
- 2) ホームページの充実と、システムの活用により県・市子連との情報の共有化を推進した。

2. 賛助会員について

企業サポーター制度の推進を図る

3. 傷害保険等の契約

- 1) 傷害（NPO）保険 ————— 各県（政令市）子連事務局の有給職員を対象
 - ・加入者数 159人
 - ・支払保険金 0件 （0円）

- 2) ボランティア活動保険（たんぽぽ） ————— 地域子ども会の育成者・指導者等、無償ボランティアを対象

- ・加入者数 4、151人
- ・支払保険金 0件 （0円）

4. 総会について

期日	出欠	内容	審議結果
定時総会 平成 25 年 5 月 29 日	出席者 43 名 委任状 12 名 欠席者 4 名	1. 総会運営規則（案）について 2. 理事の選任について 3. 常務理事の選任について 4. 平成 24 年度事業報告書（案）について 5. 平成 24 年度決算報告書（案）について 6. 役員の報酬及び費用に関する規程（案）について 7. 平成 25 年度事業計画の修正（案）について 8. 平成 25 年度予算の第 2 回補正（案）について 9. 標語の応募作品の審査について 報告事項 1. 平成 24 年度安全共済会加入状況 2. 諸規程の変更、新規作成について	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
予算総会 平成 26 年 2 月 13 日	出席者 46 名 委任状	1. 平成 25 年度事業計画書第 2 回変更（案）について 2. 平成 25 年度収支予算書第 3 回補正（案）について 3. 平成 26 年度事業計画書第 1 回変更（案）について	承認 承認 承認

	12名 欠席者 1名	<p>4.平成26年度収支予算書第1回補正(案)について</p> <p>5.定款変更(案)について(23条及び別表の変更)</p> <p>6.共済規程変更(案)について</p> <p>報告事項</p> <p>1.共済事業について</p> <p>2.東日本大震災義援金について</p> <p>3.平成25年度寄附金について</p> <p>4.賠償責任保険の引受会社について</p> <p>5.諸規程について</p> <p>6.平成26年度の資金運用方針及び資金運用計画について</p>	承認 承認 承認
--	------------------	---	----------------

5. 理事会について

期日	出欠	内容	審議結果
第1回 平成25年 4月12日	出席者 14名 欠席者 1名 監事 2名	<p>1. 実行委員会の委員選出(案)について</p> <p>2. 平成25年度審査委員会の委員(案)について</p> <p>3. 協賛事務局について</p> <p>4. 子ども会KYT指導者養成講習会の講師について</p> <p>5. 総会運営規則の改正について</p> <p>6. 公益社団法人への名義変更について</p> <p>7. 就業規則(案)について</p> <p>報告事項</p> <p>1. 公益法人移行登記について</p> <p>2. 役員の旅費について</p> <p>3. スキャナーの導入状況について</p> <p>4. ホームページの作成状況について</p> <p>5. 共済事業の情報交換会について</p> <p>6. 平成24年度第2回文科省立入検査、第2回コンプライアンス委員会について</p> <p>7. 今後の課題について 共済事業監督指針、検査マニュアルで求められている ルール等の作成 (個人情報取扱ルール、誓約書等について)</p> <p>8. 標語募集(会員の輪を広げよう、交通安全推進、防災、スポーツ事故防止)について</p>	継続審議 承認 承認 承認 承認 承認

第2回 平成25年 5月14日	出席者 12名 欠席者 2名 監事 2名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成24年度事業報告書(案)について 2. 平成24年度決算報告書(案)について 3. 総会運営規則(案)について 4. 役員報酬及び費用に関する規程(案)について 5. 共済規程の変更(案)について 6. 旅費規程(案)について 7. 全国子ども会安全共済会審査委員会設置規程(案)について 8. 平成24年度審査委員手数料について 9. 公益法人移行に伴う規程等変更(案)について 10. 平成25年度予算の修正事項について 11. 実行委員会(案)について 12. 協賛事業部長(案)について 13. 個人情報の取扱ルール(案)について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成25年度安全共済会加入人数 2. 総務財務委員会報告 	承認 承認 承認 承認 取り下げ 承認 承認 取り下げ 承認 承認 承認 承認 承認
第1回臨時 平成25年 5月28日	出席者 12名 欠席者 1名? 監事 2名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定時総会招集の決定の件 2. 定時総会の招集に関する事項の決定の件 	承認 承認
第3回 平成25年 5月28日	出席者 11名 欠席者 1名 監事 2名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 正会員の変更について 2. 平成25年度全国子ども会ジュニア・リーダー研究集会について 3. 平成25年度事業計画の修正(案)について 4. 平成25年度予算の第2回補正(案)について 5. その他 <ol style="list-style-type: none"> ① 標語募集キャンペーン 選考・審査実施要領(案) ② 子ども会推奨マーク 認定商品追加申請について事務局より説明。 ③ 第2回の臨時理事会の開催について 	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
第2回臨時 平成25年 5月29日	出席者 15名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 業務執行理事の見直しについて 	承認

1月28日	欠席者 2名 監事 1名	3. 平成26年度事業計画書第1回変更(案)について 4. 平成26年度収支予算書第1回補正(案)について 5. 平成26年度の資金運用方針及び資金運用計画(案)について 6. 定款変更(案)について 7. 共済約款の変更(案)について 8. 平成26年度以降の中央会議開催依頼について 9. 平成25年度予算総会招集の決定について 10. 平成25年度予算総会招集に関する事項の決定について 報告事項 1. 平成25年度中央会議について 2. 平成25年度の業務執行状況について 3. 各委員会の開催について 4. 東日本大震災義援金について 5. 平成25年度寄附金について	一部変更の上承認承認 承認承認承認承認承認
第7回 平成26年 2月13日	出席者 14名 欠席者 1名 監事 2名	1. 平成26年度事業計画書第1回変更(案)について 2. 平成26年度収支予算書第1回補正(案)について	承認承認

6. 委員会の開催について

○総務財務委員会

委員長：河本 功 担当副会長：小林 勝弘

委員：矢野 均、大鹿 良夫、荒井 公夫、中山 良明、山田 佳子、末留 勇、
福島 司

期日	出席委員	検討内容
第1回 平成25年 5月9日	参加9名	① 総会運営規則案について (オブザーバーについて条文追加) ② 旅費規程案について ③ 平成24年度事業報告案について ④ 平成24年度決算報告案について

第2回 平成26年 2月14日	参加9名	① 委員会のあり方について
-----------------------	------	---------------

○事業委員会

委員長：山上 武久 担当副会長：細川 昭一

委員：河村 次男、丸山 雄一郎、中 巖、鶴見 正、橋 和仁

期日	出席委員	検討内容
第1回 平成26年 2月14日	参加7名	① 委員会のあり方について

○共済事業・安全会運営委員会

委員長：武士俣 昭司、担当副会長：磯田 謙一

委員：安部 侃、三浦 保治、中川 輝夫、正木 明、小林 幸男、野瀬 武敬、
山本 素直、池田 龍男、長 秋美、吉井 勇

期日	出席委員	検討内容
第1回 平成26年 2月14日	参加12名	① 委員会のあり方について

○コンプライアンス委員会

委員長：丸山 康昭、担当理事：磯田 謙一

委員：小林 勝弘、山上 武久、武士俣 昭司、河本 功、成田 國英、

監事：後藤 守吉、中山 ひろみ、

期日	出席委員	検討事項
第1回 平成25年 9月24日	参加9名 欠席0名	1) 文部科学省立入検査について報告 (実施日：平成25年9月17日～20日) 2) 検討事項 ① 三重県子連の不祥事について ② 業務委託先の管理について

第2回 平成26年 3月25日	参加9名 欠席0名	1) 文部科学省吉谷係長によるコンプライアンス管理や 個人情報管理の解説 2) 報告事項 内部監査について
-----------------------	--------------	--

7. 内部監査の実施

平成26年3月25日